

主なサステナビリティ指標 103-2,103-3

花王は、2013年に策定したサステナビリティステートメントに基づき9つの重点取り組みテーマで、2020年までの目標を設定し活動の進捗を報告しています。

なお、2019年にKirei Lifestyle Plan を策定し、新たに19の重点取り組みテーマを定め推進しています。

エコロジー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs※7
			2015	2016	2017	2018	2019		2020	
環境	事業活動による環境負荷を最小化し、地球1個分の暮らしの実現に貢献									
	CO ₂ 排出量の削減率※1									
	(スコープ1・2)	▲29%	▲30%	▲30%	▲33%	▲34%	▲37%	▲35%	7121317	
	(全ライフサイクルベース)	▲17%	▲14%	▲14%	▲17%	—	▲18%	—		
	(日本、全ライフサイクルベース)	▲17%	▲16%	▲15%	▲18%	—	▲20%	▲35%		
	水使用量の削減率※1									
	(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲43%	▲42%	▲43%	▲42%	▲40%	▲42%	▲40%	6121517	
	(全ライフサイクルベース)	▲21%	▲17%	▲19%	▲21%	—	▲23%	—		
	(日本における消費者向け製品、製品使用時)	▲24%	▲22%	▲24%	▲24%	—	▲29%	▲30%		
	廃棄物等発生量の削減率※1									
	(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲27%	▲25%	▲25%	▲26%	▲33%	▲27%	▲33%	12141517	
	“いっしょにeco” マーク表示製品売上比率※2	28%	29%	29%	29%	—	27%	—	691213	
	持続可能なパーム油の調達活動※3	PKO※3ミルまで追跡完了※4	PKO※3ミルまで追跡完了	PO※3ミルまで追跡97%完了	PO※3ミルまで追跡98%完了	PO※3ミルまで追跡	PO※3ミルまで追跡完了	農園まで追跡	81012	
	持続可能な紙・パルプの調達比率※5	96%	99%	100%	100%	—	100%	100%	1517	
社会への環境コミュニケーションにより環境活動を推進										
環境コミュニケーション累積人数※6	46万人	69万人	91万人	123万人	140万人	142万人	100万人	12		
SAICM 推進活動を通して化学物質の適正な管理を推進し、持続可能な社会に貢献										
花王優先評価物質の安全性要約書の公開件数	7件 (累計7件)	3件 (累計10件)	3件 (累計13件)	3件 (累計16件)	3件	3件 (累計19件)	累計20件	3612		
ケミカル製品のGPS 安全性要約書の公開件数	12件 (累計89件)	18件 (累計107件)	18件 (累計125件)	16件 (累計141件)	18件	18件 (累計159件)	累計150件	1417		

※1 原単位(売上高)、2005年基準

※2 日本における消費者向け製品、“いっしょにeco” マーク表示基準を満たした製品の売上比率
“いっしょにeco” マーク:

www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/eco-friendly-products-policy.pdf

※3 花王グループで使用するパーム油を農園まで追跡可能とする活動の進捗、PKO:パーム核油、PO:パーム油

※4 他社より購入せざるを得ない誘導体の中には、2015年末時点でミルまでのトレーサビリティが確認できていないものが残った

※5 花王製品で使用する再生紙または持続可能性に配慮した紙・パルプ、包装材料

※6 出張授業、工場見学、環境イベントなどを通じた啓発者数、2014年からの累積人数

※7 SDGsの17目標中、花王グループの取り組みが寄与する目標の番号

Kirei Lifestyle Plan の重点取り組みテーマに対応するSDGsの見直しに伴い、本表において相当するテーマのSDGsも修正した

主なサステナビリティ指標 103-2,103-3

コミュニティ

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2015	2016	2017	2018	2019		2020	
健康	肥満・生活習慣病を予防・改善し、健康的な社会の実現に貢献									
	健康啓発人数※8	261万人	232万人	288万人	10万人	7万人	9万人	—	3	
衛生	感染症などを予防し、衛生的な社会の実現に貢献									
	清潔・衛生習慣に関する啓発人数※9	769万人	767万人	842万人	736万人	889万人	654万人	1,200万人	3612	
高齢化	高齢者の生活を支援し、心身共に健やかに年を重ねられる社会の実現に貢献									
	ユニバーサルデザイン視点での改良品の累積数※10	2,876	3,585	4,666	5,658	—	6,574	—	101217	
	ユニバーサルデザイン視点での改良実施率※10	91%	71%	63%	56%	—	44%	—		
コミュニティとの パートナーシップ	社会的活動を通じて地域の人々のより良い暮らしに貢献									
	社員に対するボランティア活動や情報の提供件数	71件	67件	50件	33件	80件	90件	80件	17	
	社外向け情報発信を通じた啓発件数	99件	59件	60件	50件	80件	92件	80件		

※8 ウォーキング・内臓脂肪測定・歯磨き啓発イベント参加者数、QUPiO利用者数。2018年4月にQUPiO事業を売却したため2018年はQUPiO利用者数は対象外
QUPiO:100万人分に及ぶ経年の健診データの集積と、東京大学との共同研究で得られた知見をもとに、健康増進・生活習慣病予防をサポートするためのプログラム

※9 日本およびアジアにおける、おむつ、手洗い、洗髪、清掃、洗濯、初経に関する啓発(啓発サンプリングや教育セットの配布含む)の対象者数。啓発活動の追加により2015年にさかのぼって再集計した

※10 ユニバーサルデザイン視点での改良品とは、接しやすさ(Accessibility)、安全(Safety)、使いやすさ(Usability)などの視点から改良した製品を表す。改良実施率は、新製品・改良品アイテム全数(品)に占めるユニバーサルデザイン視点での改良品数(品)比率。2015年は日本国内、2016年は日本および米州、2017年からは日本、米州、欧州(サロン、モルトンブラウン社を除く)が集計範囲

コーポレート・カルチャー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2015	2016	2017	2018	2019		2020	
健全な事業活動	花王グループ全体への「正道を歩む」精神の浸透・定着									
	BCGテスト実施率	96.4%	97.5%	97.1%	—※11	100%	100%※12	100%	816	
	重大なコンプライアンス違反件数※13	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
ダイバーシティ＆インクルージョン推進	社員の多様性尊重による、社員が生み出す価値の最大化									
	女性管理職比率	27.5%	25.4%※14	25.1%	27.3%	—	29.4%	30%※15	5810	
	女性管理職比率(日本)	10.4%	13.1%※14	14.6%	18.4%	—	21.2%	20%※15		
	ダイバーシティ・マネジメント力の強化:マネジャー研修の累積受講率(花王(株)ならびに一部の関係会社)	—	8.2%	55.7%	94.0%	200%	189%	200%※16		
社員の健康づくりと安全な職場づくり	社員全員の健康意識(ヘルスリテラシー)、安全意識の向上									
	健康増進プログラム参加のべ人数	—	31,885人	36,259人	40,768人	—	36,889人	35,900人	38	
	休業度数率※17	0.61	0.67	0.55	0.77	0.16	0.78	0.10以下		

※11 BCG活動の見直しのため、2018年は未実施

※12 2019年から日本国内・海外にて隔年で実施。2019年は日本国内でのみ実施

※13 経営に重大な影響を与え、企業価値を大きく毀損するコンプライアンス違反案件をいう

※14 グループ一体運営の推進に伴い、2016年にマネジメントの定義を見直し

※15 特に2020年目標として設定しているものではないが、次のマイルストーンとして速やかに達成したい目標

※16 2016年からのマネジャー研修の累積受講率

※17 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)